

山形県立上山明新館高等学校 令和4年度 学校評価書

学校教育目標	(1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
	(2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
	(3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
	(4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

学校経営方針	(1) 開校当初の基本理念「時代の進展に対応し、21世紀の社会を積極的に切り開き、心豊かでたくましく人間の育成」を踏まえ、人間性に満ちあふれ、未来をひらく人を育てる。
	(2) 生徒の個性や能力を尊重し、自ら可能性を伸ばそうという意欲と実行力を持つ生徒を育てる
	(3) 広い視野と高い志を持ち続け、地域から世界まで、グローバルな課題解決と高価値の創造に挑戦する人を育てる。
	(4) 高い倫理観と規範意識を身に付けさせ、危機的状況であっても他と協働して適切に対応できる人を育てる。
	(5) 心身の健康を大切に、自分らしい生き方、よりよい人生を展望できるようなキャリア教育を行う。

重点目標	【1】「いのちの教育」の推進と規範意識・主権者の自覚を醸成	○業務について ⇒ 正確 スピード 情報共有 ○生徒について ⇒ 愛情 安全 ○職場について ⇒ 健康 思いやり 率先
	【2】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	
	【3】地域と係わり、地域の期待に応える学校づくり	

< 評価基準 A: 達成 B: 概ね達成 C: やや不十分 D: 不十分 >

重点目標	項目	評価項目・具体的目標	R4評価	次年度に向けた課題と改善策	学校関係者評価(令和4年度)
【1】	1 互いのいのちを尊重する ① 全ての生徒に自尊感情と自己有用感を ② 自分との違いを認め相手を理解する賢さを	・生徒の自尊感情を向上させる複数回の面談の実施 ・ホームルーム活動の充実 ・いじめアンケート等を活用してのいじめへの適切な対応 ・校則や社会規範を遵守する態度の育成	① B ② B	・引き続き面談等を充実させていく ・担任学年団と生徒指導課の連携強化を図る ・迅速かつ適切ないじめ対応およびいじめ防止の啓蒙	・進路実績を中学校にアピールしたほうがいい。 ・明新館高校の記事が新聞に載ることが多い。これまでの取組みを継続発展させるようお願いしたい。 ・学校評価アンケートで出た意見は、フィードバックして頂きたい。 ・部活動について、これまでなかった新たな部活動を立ち上げてはどうか。例えばeスポーツ部など。 ・スクールポリシーなどは、かみ砕いて、積極的に外部に伝えて欲しい。 ・スクールポリシーの受け入れ方針の中に、農業・商業に興味・・・とあるが、食料生産科・情報経営科共にいるんな取り組みをしているのではないかと思う。中学生にアピールできるよう、より大きな取り組みをしているような表現にした方がいい。 ・子供たちに聞く方がいいのでは。子供たちは頭がいい。いいアドバイスがもらえると思う。 ・明新館としてアピールしたいことは何か。スレートに伝わるような表現をお願いしたい。
	2 基本的生活習慣を身に付け、社会の一員として自覚を深める ① ルール遵守、そして個性伸長を図る ② 情報モラルやコミュニケーション力の体得	・挨拶の日常化を進める。また自ら挨拶できるようにする。 ・規則正しい生活の確立 ・スマートホンの適正な利用指導 ・部活動・ボランティア活動・生徒会活動への積極的な参加	① B ② B	・不正行為や問題行動への対処および、未然防止の呼びかけ ・職員から生徒に対する挨拶をより積極的に行う ・出席率99%以上年間皆勤者数40%以上を目指す ・SNS等の適切な使用のための指導充実 ・部活動の見直しの検討	
	3 主権者意識を高めながら、危機への的確な対応をする ① メディアを活用し社会情勢に関心を持たせる ② 考えを主張し説得できる力を伸ばす	・防災意識を高め、危機に迅速に対応できる姿勢を育てる。 ・1学級1新聞を活用し社会情勢に関心を持たせる ・探究的な学習を積み重ね、自分の考えを主張できるようにする ・新教育課程の理念の共有と、観点別評価の実践研究	① B ② B	・読書指導と並行して積極的に新聞を活用していく。 ・運力りの理念を普通科の魅力化につなげていく。観点別評価の実践を整理した上で、より生徒の学習行動に反映できるやり方にしていく	
【2】	1 学力の充実・定着と体力の向上をはかる ① 「わかる」喜びの経験、学習意欲の定着 ② 健康で健全な身体づくりを意識させる	・研究授業や、評価の研修等を通して教職員相互の力量を高める ・予習・授業・復習のサイクルの定着を図る ・生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育成する。	① C ② B	・新しい学力観に基づいた授業や評価の活用方法を組み立てていく。 ・学習習慣が良好とはいえない状況なので引き続き力を入れる。 ・引き続き生涯スポーツ、健康安全、男女共学を推進する	
	2 キャリア教育の充実をはかる ① 計画的、組織的かつ系統的な進路指導 ② どのように社会に貢献できるか考えさせる	・キャリア教育実践プログラムに沿って、進路指導計画を実行 ・キャリアパスポートを活用して将来の生き方について考える ・講話、インターンシップ等を通して、職業観を育む ・全校一斉ボランティアを実施し、地域との連携を図る	① B ② B	・今後も早い時期から、校内外の様々な活動への参加を図る ・キャリアパスポートの活用をさらに進める。 ・インターンシップ・オープンキャンパス参加の推奨 ・引き続き全校一斉ボランティアを実施する。	
	3 能動的な学習(書く・話す・発表する等)の推進をはかる ① 生徒を伸ばす教科指導や特別活動の充実 ② 異なる意見に傾聴し協働しての課題解決 ③ 個に応じた支援体制の充実をはかる	・個々の学びを踏まえながら、能動的な学習姿勢を育てる。 ・ホームルーム活動・生徒会活動等への積極的な参加 ・探究的な学習の積み重ねを通して自己主張力を身に付ける	① B ② C	・日々の授業実践の中で、探究的な学びが広がっていくように教員側も研修を深め、生徒の能動的な学習態度の育成に繋げる。	
【3】	1 郷土・地域を理解する ① 地域課題発見・解決実践・成果還元の推進 ② 地域活動への参画を推進する	・生徒の自尊感情を向上させる複数回の面談の実施(再掲) ・特別な支援を必要とする生徒の情報共有し、組織的に対応。	① B ② B	・面談を複数回実施したが、多忙な担任の時間確保が課題 ・支援が必要な生徒への組織的対応の推進。	
	2 郷土・地域と連携する ① 課題解決実践・成果還元の見える化 ② 地域連携を通しての地域還元検討	・地域課題を取り入れた研究活動等により農業学習の充実を図る ・上市役所等と協働して地域を支えるリーダーを育てる ・農業クラブにおける研究発表会にて入賞を目指す。 ・地域の要請に応える演習を通して思考力・判断力・表現力等を身に付ける ・全校一斉ボランティアを実施し、地域との連携を図る。(再掲)	① A ② A ① B ② B	・農業科生全員が、SDGsの視点に立ち、地域課題解決に向けたプロジェクト学習に取り組み、地域や大学等での一層の推進を図る。 ・東北や全国大会につながる質の高い農業教育の実現。 ・取組みを通して情報経営科の社会性をさらに向上させる ・引き続き地域と連携しながら全校一斉ボランティアを実施	
	3 郷土・地域等に発信する ① Webページの定期更新する手立てを講ずる ② 学校を取り巻くネットワークの拡大充実	・学校ホームページや公式インスタグラムによる情報発信 ・明新館通信による校内情報発信 ・中学生対象の学校説明会の充実	① B ② B	・積極的に情報発信に努めていく。 ・学校説明会に加えて、部活動体験会などにも力を入れる	

学校評価アンケートのまとめ

生徒	<p>《学校評価アンケートについての特徴》・「SNSを適正に利用している」「ルールを守って行動している」など、規律順守に対する自己評価は高い。逆に家庭学習や読書等への取組みに対しては低い。</p> <p>《自由意見》・自由意見の中で目に付くのは、トイレの清掃不備や、和式トイレへの苦情。・教職員の指導については、「ルールを守る指導などは学年等による差がないようにしてほしい」「先生方も挨拶をしてほしい」「電車遅延等に伴う学校の対応を素早くしてほしい」などの意見があった。また、「部活動の全員加入の見直しを検討してほしい」という意見も見られた。</p>
保護者	<p>《評価アンケートについての特徴》・全体的に、各質問に対しての肯定的な評価の割合が昨年度より低くなっている。・評価が高いのは、「生活指導や規律指導に対する理解」「本校に通うことの意義」「学科、コース、科目選択についての満足度」など。逆に評価が低いのは、「PTA活動の在り方」「PTA活動への協力意識」「環境施設設備改善への取組みに対する評価」などであった。</p> <p>《自由意見》・冷暖房設備の適切な運用など、寒暖への適切な対応要望、トイレの衛生対策および改善要望など施設設備に関連する意見が多く見受けられる。・「学校に行く機会がないので、学校の様子かわからない」、「教職員とのコミュニケーションが取れない」などの意見は、コロナ感染予防によるPTA行事や保護者の集会の減少も影響していると思われる。・進学指導や就職指導については、親身な指導に対する感謝の言葉が見られた。</p>
教職員	<p>《学校評価アンケートについての特徴》・自己評価が高いのは「日常的な会話等を通しての生徒への目配り」「コロナ感染症予防への適切な対応」「生徒保護者への誠意を持った対応」などで、低いのは「教職員どうしの仕事の連携」「個に応じた特別支援の取組みおよび、それに対する組織的な対応」など。・ICTを活用した授業については、昨年度に比べて大幅に上昇した。・「PTA活動のあり方は適切である」の評価は高く、保護者の意識との相違がみられる。</p> <p>《自由意見》・特に普通科において、地域の資源を積極的に活かした教育が必要でないか。そのためには、校外での活動に柔軟に対応することも必要ではないか。・特に普通科においては、生徒が卒業するまでにどういった力を身に付けて欲しいのか、学力はどの程度を目指すのか等、話し合う場が欲しい。・学校の行事等について、スクラップ&ビルドをしっかり行い、ぶれない指導が必要ではないか。</p>